

# まちの日記帳



## 交通安全を願う活動に感謝 商工会女性部「愛の鈴」を贈呈

3/26

町商工会女性部（葛西幸子部長）が交通安全の願いを込めて製作する「愛の鈴」と、町を通じて新入学児童に贈る「交通安全のお守り」を、今年も葛西部長、山本・河岸両副部長が役場を訪れ、寄贈しました。

昭和53年から同会が始めたこの活動は今年で37年目を数え、この日は100個の「愛の鈴」が松井町長へ手渡されました。

また、4月6日に行われた美国小学校入学式では葛西会長から12名の新入学児童に「愛の鈴」と美国神社での祈禱を受けた「お守り」が寄贈されました。

平成12年8月以来続けている「輪禍の無い積丹町」を支える活動に感謝を申し上げます。



## 約2年間の活動を報告 実践事業活動成果報告会

3/27

平成25年4月に本格始動し、観光・農産・水産の各部門で約2年間にわたって町の地域資源を活用し、新たな特産品や観光メニューづくりなどに取り組んだ「実践型地域雇用創造事業」の実践支援員3名による活動成果報告会が総合文化センターで行われ、18人が出席しました。

報告会では、3人の実践支援員がそれぞれ、新たに開発した体験観光商品や未利用・低利用の水産資源を活用した高付加価値商品、新たな特産品として試験栽培に取り組んだ農作物などについて説明を行うとともに、これらの有効活用や販路と出荷の拡大について協力を呼びかけました。



## 新しい1年に期待膨らむ びくに・みなと保育所入所式

4/1

4/2

びくに保育所の入所式が1日に、みなと保育所が2日にそれぞれ行われ、計29人の園児がそれぞれ保育所での新しい生活をスタートさせました。

お父さん、お母さんに付き添われ、たくさんのお友達が待つ保育所へ元気に登園した園児たち、式典では坂野保育所長のお話や先生たちの紹介を一生懸命に聞き、園児たち一人ひとりの紹介が行われると、「ハイ！」と元氣よく返事をしていました。

出席されたお父さん、お母さんは、可愛いわが子の成長ぶりに顔をほころばせ、温かい雰囲気での入所式となりました。



### “ふるさと応援団”が一同に会す 平成27年札幌しゃこたん会定例総会

4/3

札幌市とその近郊に住む積丹町出身者で構成されるふるさと積丹の応援団、札幌しゃこたん会（三上初夫会長）の総会が札幌市内のホテルで開催されました。

総会では三上会長のあいさつに続き、松井町長が町の近況と日頃の“ふるさと積丹”への支援に感謝を述べました。

総会后に交流会が行われ、同郷の仲間と交流し、ふるさとの思い出話を花を咲かせました。また、カラオケや積丹町の名産物が当たる抽選会なども行われ、大盛況となった本会は万歳三唱で締めくくられ、同郷の仲間たちとの再会を約束しました。



### 今シーズンの安全運航を願って 水中展望船「安全祈願祭」

4/16

㈱積丹観光振興公社（杉山覺代表取締役）が航行する水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全祈願祭が執り行われ、同社社員と町内関係団体長など20名が玉串を捧げ4月18日から始まる運航の無事故を祈りました。

杉山代表取締役はあいさつの中で「いよいよ観光シーズンの幕開けとなります。今年度はTVドラマの波及効果にも期待し、町内の観光業者の皆さんと力を合わせ、お客様の満足を得るために何が出来るかを模索し、安全航行を第一頑張っていきたい。」と述べ、今シーズンの集客の増大に期待を高めていました。



### 大きくなって帰っておいで！ 積丹川・美国川サケ稚魚放流

4/15

4/22

4/23

4月15日・22日に積丹川二地区橋・鳥居橋で、4月23日には美国川如月橋でサケの稚魚放流が行われ、東しゃこたん漁業協同組合美国支所・積丹支所の青年部ら12人が参加しました。

今回は積丹川200万匹、美国川100万匹のサケ稚魚を放流し、参加者は豊かな川をつくるため、まだ肌寒い気候の中額に汗して作業に取り組みました。

水産資源の増大に繋がるこのような活動に感謝を申し上げます。

